

松田 麻由子 さん (伊那佐郵人)**どんな事業をしていますか？**

宇陀市にある旧伊那佐郵便局を改修した建物を、レンタルスペースとしてシェフに貸し、飲食物を提供する「ワンデイシェフ」の事業を行っています。シェフは借りる上で特に条件はなく、希望する日程に空きがあれば誰でも借りることができます。提供するメニューもそれぞれのシェフに任せており、飲食店を開く前の腕試しの場所としても活用いただいています。昨年、旧伊那佐郵便局は「農村の郵便の歴史を色濃く残す建物」と評価され、有形文化財に登録されました。

起業のきっかけは何でしたか？

もともと子育てをしながら在宅ワーカーとして働いていました。子育てにいい環境を探して宇陀市に移住したところ、その移住した自宅から車で約5分の場所に解体予定の旧伊那佐郵便局を見つけました。築80年のこの建物を何とか活用できないかと考え、保存活動を行いました。宇陀市に相談して「空き家再生等推進事業」を活用し、国から予算が下りることが決まったため、自己資金も投資して改修を始めました。改修には延べ100人以上のボランティアスタッフが各地から集まってくれました。様々な人に使ってもらえる地域コミュニケーションの拠点として飲食できる場所にしようと考えましたが、当時子どもがまだ小さく、自分がずっとは店舗に出られないため、いかに自分が飲食サービスの実運営に携わらないかを考えました。そして、日替わりの飲食店としてシェフに貸す「ワンデイシェフ」のスタイルで、2012年に伊那佐郵人をオープンしました。

起業してよかったこと、楽しかったことは何ですか？

当初は自分からアクションを起こしていましたが、現在は市民活動をしている人や店舗を経営したい人等、様々な人が伊那佐郵人に集まってくるようになったことです。伊那佐郵人という場所があったからこそつながった人やものがたくさんあります。伊那佐郵人という場所があることで、周りから見ると自分の存在や自分が取り組むことのコンセプトが分かりやすいのだと思います。



事業を拡大、または新サービス・商品を開発する中で乗り越えてきた課題は何ですか？

シェフを集めることが課題でした。シェフに場所を借りてもらわないと収益が上がりません。そのため、誰でもシェフができるように簡単な器具は最初からそろえ、シェフが借りやすいような環境にしました。

シェフは、口コミで知って問い合わせをくれる人が多く、最近ではホームページや新聞記事を見て問い合わせをくれる人も増えてきました。特定の日に空きが出た場合は、やりたいと思っている人の背中を押す一声をかけるなど、できる限り空きが出ないように工夫しました。

また、メディアに出ることで遠方からのお客様が増えていますが、地元の来客数の割合を増やしていきたいと考えています。



今後の夢、将来展望はどんな風にお考えですか？

夫婦で10年計画を立てており、自分のゴールは「地域に還元できるようなシステムを作ること」です。

具体的には、農家民泊をメインに、グリーンツーリズムをコンテンツとして作ることを考えており、それが郊外の住宅地が持っている資源やポテンシャルを最大限に活かし、収益を上げる方法だと考えています。

参加者には伊那佐郵人で昼食を食べてもらった後に、農業や登山、ハイキング、サイクリングなどを体験してもらいたいと考えています。

しかし現在、やりたいと思っている人は多いですが、事業としてまとめられる人がいないという点が課題です。



他の女性起業家・起業準備者へのメッセージをお願いします。

起業はリスクを負わなければならず、また四六時中働かなければ成功しないし、人も雇うことができないと思います。そのため自分は「人を雇わない」、「自分でやらない」というスタイルを取りました。

家庭を持ちつつ起業をしたいのであれば、まずは家族の同意をもらうことです。同意が得られないのであれば、説得できる材料を用意することが重要です。説得する材料は事業1年間の収支をまとめたものなど、用意に時間はかかりますが、すべきことをきちんとしていけば家族に理解してもらえるとと思います。

企業情報

商号 伊那佐郵人
業種 その他サービス業
起業年 2013年
企業HP <http://inasa.pupu.jp/>
所在地 〒633-0235 宇陀市榛原比布 1312
連絡先 0745-88-9064

